

小論文

令和

七年度

編入学試験問題用紙

【一般選考】

比較文化学部 比較文化学科

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

出典…阿部謹也「社会史とは何か」(筑摩書房 一九八九)

*放生会：供養のために、捕えられた生物を池や野に放す宗教儀式。

*キリスト教の終末論：世界の歴史は終末に向かってすすんでおり、その終末において神の審判が下されるところの宗教思想。

小論文

令和

七年度

編入学試験問題用紙

【一般選考】

比較文化学部 比較文化学科

問一 傍線部「西欧近代社会で成立した均質的な時間意識とは異なった時間意識をもっている私たち」とあるが、「私たち」がもっている西欧近代社会とは異なる時間意識とはどのようなものか。それを説明した次の文に当てはまる語句を問題文中より抜き出して記せ。

明治時代以前から日本人がもっている時間意識には、
意識、
時間意識、
にもとづく時間意識の三つがある。

問二 本文には、日本人のもつ時間意識と西欧近代社会における時間意識が対比的に論じられている。これを読んだ上で、現代に生きる自分自身がどのような時間意識をもっているか、それが日常生活や自然との関係にどのようなつながっているのか、八〇〇字以内で述べなさい。